

## 人の命

香南中学校 1年

坂本 奈津希 (金地)

平成24年度の「南国市青少年健全育成大会」が9月8日(土)、南国市役所4階大会議室で開催されました。これは南国市内の小・中・高校の代表者が、日頃の思いを意見発表する場で、今年は14名の発表がありました。その中のひとり、金地の坂本奈津希さんの発表した内容です。

知識を身に付けておくべきだと私は思います。

もし自分のそばで人がたおれたらあなたは何ができますか。最低、救急車を呼ぶことはできると思います。でもその後でその人の命は大きく左右することでしょう。

私は学校で救急救命の講習を経験しました。でも最初はとても不安でした。そのことを知って本当に人を助けることができているのか。本当に人がたおれていてその習ったことを実践できるのか。

あなたがどうして命とは何ですか。私は命とは、自分で守るものとよく言われますが、それは間違っていると思います。なぜなら今自分がどうなっているか死んでしまうかなんて分からないと思います。少なくとも私は分かりません。だからいつどんなことが起きても大丈夫なようにしっかりと

も心配になりました。

心臓マッサージもまた難しく1分間に100回のタイミングで圧迫するというそのタイミングが難しかったです。

AEDは近年公共施設などによく設置されているものです。それを使って救命するのですが、それをだれかに取って来てもらわないといけないのです。が、そこで不安に思ったことは、そのだれかが、本当にAEDを取って来てくれるかでした。

少しでも、多くの人が悲しまないようにとがんばって実習しました。この学習を実践するときが来るのか分かりませんが、そのときが来たら私はしっかりとその人の命を助けてあげたいと講習のあった日からずっと心に決めていきます。

3月11日に起こった東日本大震災。あの震災で多くの命が失われてしまいました。災害に對しても、人の体のことに對してもある一定の知識を身に付けておけば、この東日本大震災で少しでも多くの命が助かったの

ではないかと私自身のことをよく考えました。

私は実習の時、どうなんだろう、どうしようと不安ばかりでした。だから私は考え方を少し違う方向で考えてみました。たとえば本当にできるのかという不安を、本当にやろう！という強い目標に変える方法を思いつきました。そうすることで難しく実習することができたのです。

自然には人間はなかなか逆らえません。だからこそ自分達の身をしっかりとお互いで助け合うのです。

人間は学ぶ生き物なのです。だから次同じことが起こったらどうしたらいいか大体分かることとでしょう。でも何かが起こった後では遅いのです。その一人の命をも無駄にできないからです。

専門の人達だけに任せてはいけません。あなたも誰かを救える人の一人なのです。そのことをずっと心の中に入れておいて下さい。